

赤井川村地域公共交通活性化協議会【第1回】

日 時 令和2年6月3日（水）
午前10時30分
場 所 赤井川村役場 第3会議室

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 説明・協議事項

- (1) 赤井川村・余市間 市町村運営有償運送（交通空白輸送）の運行状況について
- (2) 北海道中央バスの運行状況について
- (3) キロリゾート従業員向けバス村民利用の実績について
- (4) 市町村有償運送（交通空白輸送）の対象に余市町民を含めることについて
- (5) 赤井川村地域公共交通活性化協議会財務規程の制定について
- (6) 赤井川村地域公共交通活性化協議会財務規程に定める監事の選任について
- (7) 令和2年度赤井川村地域公共交通活性化協議会予算について

(1) 赤井川村・余市間 市町村運営有償運送（交通空白輸送）の運行状況について

○運行状況

令和元(2019)年12月1日～令和2(2020)年5月31日

月別	運行日数	乗車人員	1日平均	1便平均	空車率
12月	5日 (40便)	42人	8.4	1.1人	19/40 47.5%
1月	5日 (40便)	51人	10.2人	1.3人	19/40 47.5%
2月	6日 (48便)	53人	8.8人	1.1人	19/48 39.6%
3月	6日 (48便)	29人	4.8人	0.6人	28/48 58.3%
4月	5日 (40便)	22人	4.4人	0.6人	25/40 62.5%
5月	8日 (64便)	27人	3.4人	0.4人	42/64 65.6%

(2) 北海道中央バスの運行状況について

○運行状況

資料1のとおり

(3) キロロリゾート従業員向けバス村民利用の実績について

○利用実績

住民利用可能期間	12/25～3/18	85日間の実証試験運行
延べ利用者数	本村市街地→キロロ行き	31人（推計）
	キロロ→本村市街地行き	45人（推計）

(4) 市町村有償運送（交通空白輸送）の対象に余市町民を含めることについて

○余市町住民の赤井川村公共交通バス利用に関する合意形成について

利用数は少ないものの、余市町民の余市町内での村公共交通バスの利用が想定されることから、今後の当村と余市町との公共交通を円滑に進めていくため、赤井川村が運行主体である市町村運営有償運送（交通空白地）に、余市町住民を運送する旅客の範囲に含めることについて第3回協議会において協議し、余市町地域公共交通活性化協議会へ余市町における合意形成について要請を行いました。

余市町地域公共交通活性化協議会より、別紙のとおり回答が届いておりますので、令和2年7月1日より、余市町住民を旅客の範囲へ含めることについて、北海道運輸局に対し届出を行います。

○余市町民の利用と推測される利用状況

－2019. 12月～2020. 5月 10人（延べ乗車数の約4%）

資料2 赤井川村公共交通バス運行に係る合意形成について

(5) 赤井川村地域公共交通活性化協議会財務規程の制定について

○制定の理由

本年度、地域公共交通計画策定に係る国の補助事業を実施するのにあたり、本協議会が事業実施主体となり、国の補助金を直接受領し、補助事業を実施するため、別紙のとおり協議会財務規程を制定するものです。

資料3 赤井川村地域公共交通活性化協議会財務規則（案）

(6) 赤井川村地域公共交通活性化協議会財務規程に定める監事の選任について

○選任の理由

協議会予算の執行の監査を受けるため、協議会委員の互選により監事1名を選出します。

監事1名

(7) 令和2年度赤井川村地域公共交通活性化協議会予算について

○予算概要

協議会において、地域公共交通計画策定に係る業務を実施するため、歳入予算には、国の補助及び村の負担分を、歳出予算には、計画策定業務委託料及び事務費を計上しております。

歳入（円）

款	項	目	金額	説明
1 補助金	1 補助金	1 国庫補助金	2,808,000	地域公共交通調査事業費国庫補助金
		2 村補助金	3,511,000	村補助金
2 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	
3 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	1,000	預金利子等
合 計			6,320,000	

歳出（円）

款	項	目	金額	説明
1 事業費	1 事業費	1 事業費	5,602,000	地域公共交通計画等策定業務委託料
	2 事務費	2 事務費	300,000	送金手数料、会議消耗品、旅費等
2 予備費	1 予備費	1 予備費	418,000	
合 計			6,320,000	